

兵庫消防

発行所
公益財団法人兵庫県消防協会
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
編集発行人 岸 野 雅 信

二〇二二年
全国統一防火標語
お出かけは
マスク戸締め
火の用心



『来日雲海』

令和五年新春メッセージ

躍動する兵庫、新時代への挑戦

兵庫県知事

齋藤元彦



新年あけましておめでとう
ございます。

新型コロナウイルス感染症
が広がりを見せてから三年が
経過しました。これまでの経
験と教訓を活かしながら、感
染防止対策と社会経済活動を
両立させるウィズコロナの時
代に入ったと言えるでしょう。
一方、混迷するウクライナ情
勢等を背景にした物価高騰や
円安が、私たちの暮らしに大
きな影響を及ぼしています。
こうした変化の大きな時代
だからこそ、受身になること
なく、新たな挑戦を起こすこ

とが大切ではないでしょうか。
令和五年は「躍動する兵庫」
の実現に向け、果敢にチャレ
ンジする年にしたいと思いま
す。

その一つは、新たな産業活
力の創出です。中小企業やス
タートアップが持つている既
存の技術と地域課題とのマッ
チングを広げ、新たなイノ
ベーションを生み出します。
また、水素エネルギーの利活
用や中小企業のCO₂排出量削減
の支援強化など、脱炭素社会
に向けた取組を加速させます。

ドローンや空飛ぶクルマなど
の次世代モビリティの社会実
装にも挑みます。

また、兵庫が関西と瀬戸内
の結節点にあるという好立地
を活かし、両エリアをつなぐ
大交流圏の形成をめざします。
大阪・関西万博が開催される
二〇二五年には、瀬戸内国際
芸術祭も開催される予定です。
県内各地をパビリオンに見立
てて誘客する「フィールドパ
ビリオン」を核に、関西圏域
とは万博に関連した連携事業
を、瀬戸内圏域とは芸術・文
化等をテーマにした連携事業

を行えるよう、着実に準備を
進めていきます。

若者の学びの場も充実させ
ます。県立高校等において、
魅力・特色あるカリキュラム
の充実やICT化を進めること
に加え、生徒ファーストの
視点で、老朽化が進む学校の
施設・設備や部活動の用具・
備品等を改善します。中高生
からのアントレプレナーシッ
プ（起業家精神）教育も推進
し、課題解決に主体的に取り
組む力を伸ばします。

県政の推進にあたって、今
年ももともと大切にする姿勢
は、現場主義の徹底と対話の
重視です。私自身、引き続き
積極的に県内各地域に足を運
び、医療や交通、観光、教育
など様々な課題について県民
の皆さまと対話をし、施策に
つなげていきます。

皆さまのご理解とご協力を
賜りますよう、よろしくお願
いいたします。

新年のあいさつ

公益財団法人 兵庫県消防協会

会長 岸野 雅信



令和五年の新春を迎え、謹
んでお慶び申し上げます。

消防団員、消防職員並びに
ご家族の皆様におかれまして
は、平素より、当協会の運営
や活動に対し、格別のご理解
とご協力を賜り、厚くお礼申
上げます。

消防職員・消防団員の皆様
におかれては、日々厳しい訓

練を重ねられ、地域住民の生
命と暮らしを守るため献身的
にご尽力されておられますこ
とに對しまして、心より敬意
を表します。

さて、我が国では風水害や
地震など自然災害が多発して
います。こうした中、地域防
災における消防団の存在意義
はますます大きくなっており、

新型コロナウイルス禍における活動の
創意工夫を活かしつつ、新し
い年も引き続き活動の充実強
化に努めていく必要があると
認識しています。

今後とも、県民の安全・安
心の確保のため、心身の鍛錬、
技術の錬成に努められ、ご精
励いただきますようお願い申
上げます。



当協会といたしましても、
消防の持つ役割の重要性を深
く認識し、地域の安全・安心
の確保のため各種事業を引き
続き積極的に推進します。

結びに、今年一年が災害の
ない平穏な年であることを祈
願し、消防団員、消防職員の
皆様のご活躍、ご健勝をお祈
り申し上げます。新年のご
挨拶とさせていただきます。

年 頭 の 辞

消防庁長官

前田 一浩



災害現場においては、被災地の消防本部や地元消防団はもとより、被災状況により県内消防応援隊も総力を挙げて最前線での活動等に当たっていただき、多くの人命を救助していただきました。改めて皆さんの御活躍・御尽力に敬意を表しますとともに、心から御礼申し上げます。

とりわけ、団員減少が危機的な状況にある消防団については、引き続き、装備や資機材の充実強化に取り組むとともに、広報の充実や、報酬の充実等による団員の処遇改善など、消防団員の確保に全力を挙げてまいります。

また、昨年の一〇月から一月にかけては、北朝鮮から発射された弾道ミサイルにより、二度にわたり国民保護情報が発行され、Jアラートで送信されたところであり、Jアラートに関する自治体向けの研修及び訓練や、弾道ミサイルを想定

した住民避難訓練の実施により、より一層国民保護体制の整備に万全を期してまいります。

さらに、新たな科学技術が大きく発展していく中で、消防の分野にも適切に反映・活用していくことも忘れてはなりません。災害時における国・自治体間の映像共有手段の充実を図ることを目的とした消防庁映像共有システムの構築や、マイナンバーカードを活用した救急業務の迅速化・円滑化に向けたシステム構築の検討、火災予防・危険物保安・石油コンビナート等の保安の各分野における各種手続の電子申請化など、消防防災分野におけるDXの推進に取り組めます。

また、今後も新型コロナウイルス対策を的確に講じていく必要があるため、救急隊員の感染防止対策など、救急搬送体制の充実強化を図るとともに、救急相談サービスを提供する「#7119」などの取り組みを促進してまいります。

加えて、本年五月には、G七広島サミットが開催されるところであり、サミット開催期間中における消防・救急体制を構築してまいります。

皆様方におかれましては、国民が安心して暮らせる安全な地域づくりとそれを支える我が国の消防防災・危機管理体制の更なる発展のため、より一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様の益々の御健勝と御発展を祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

公益財団法人 兵庫県消防協会

令和五年元旦

総 裁	齋 藤 元 彦
副 総 裁	服 部 洋 平
名 誉 会 長	岸 谷 義 雄
会 長	岸 野 雅 信
副 会 長	採 田 芳 博
	安 満 真 哉
	安 達 哲 哉
	中 西 君 一
	坂 本 信 嘉
	吉 田 清 光
	西 岡 安 雄
	田 畑 幸 生
	曾 谷 哲 也

新春のごあいさつ

公益財団法人 日本消防協会

会長

秋本 敏文



いろいろな気がかりなことがあります。兵庫県下の無事平穏と消防関係の皆さんのご健勝ご多幸をお祈りする気持ちのもと、新年のおよこびを申し上げます。

間もなく三〇年ですが、あの、新年早々の阪神・淡路大震災は忘れることができません。昨年神戸市で開催させて頂いた「ぼうさい こくた

い」では、あの時の状況を神戸市鍵本消防局長からお話頂きながら、あらためてあの物凄さを思いました。実は、私はあの年六月に消防庁長官に就任し、緊急消防援助隊という全国の応援体制を整えるとともに、その年一二月末には初めての全国合同訓練を開催するということを行いました。その後の日本消防の新たなスタートでありました。

近年、世界規模で災害の様相が変わり、また地域社会の様子が変わっております。東日本大震災の経験を経まして、今、地域の皆様総参加総活躍の地域防災体制づくりを、新たな法律のもと、全国的に進めております。これも、実は阪神・淡路大震災の際の体験が基礎となっておりまして、私は、「新たな災害環境」に入っていると申し上げたり、

「防災の原点は地域」と申し上げたりするのですが、これからの消防防災体制の強化には、「阪神」の体験が貴重だとあらためて思います。

近年は、新型コロナウイルス感染症問題まで加わって、消防関係の皆様のご苦心ご苦労は一段と大きくなっていると存じますが、そのなかで、消防団員の著しい減少傾向が全国的に拡大するなど厳しい環境にあります。各地でいろいろご努力頂いていますが、日本消防協会としても、消防団の重要性の周知などにさらに努力しなければならぬと思います。また、令和六年五月末完成予定の新しい日本消防会館は、このようなことも含め、最大限に活用しなければならぬと考えているなどしておりますが、さらにいろいろな面で努力してまいります。



令和四年秋の叙勲（消防関係）

一六名が受章

令和四年秋の叙勲が一月三日に発令されました。

叙勲の受章者（消防関係）は、全国で六二一名、うち兵庫県では、元消防吏員・元消防団員併せて一六名が叙勲の栄に浴されました。

受章者は次のとおりです。

（敬称略）

（全国消防関係受章者数）

瑞宝中綬章	一名
瑞宝小綬章	三九名
旭日双光章	五名
瑞宝双光章	五〇名
瑞宝単光章	五二六名
計	六二一名

兵庫県下受章者（消防関係）

◎瑞宝小綬章

元姫路市

消防正監

元神戸市

消防正監

◎瑞宝双光章

元三木市消防団

団 長

元加古川市消防団

団 長

◎瑞宝単光章

元姫路市家島町消防団

団 長

元姫路市家島町消防団

団 長

元神戸市北消防団

副団長

元神戸市東灘消防団

団 長

元明石市消防団

副団長

元姫路市姫路西消防団

団 長

元神戸市長田消防団

団 長

元養父市消防団

副団長

元姫路市飾磨消防団

団 長

元淡路市消防団

副団長

元尼崎市消防団

分団長

元加古川市消防団

分団長

元高砂市消防団

分団長

元高砂市消防団

分団長

元高砂市消防団

分団長

元高砂市消防団

分団長

元高砂市消防団

分団長

元高砂市消防団

分団長

元高砂市消防団

分団長

元高砂市消防団

分団長

元高砂市消防団

分団長

元高砂市消防団

分団長

元高砂市消防団

分団長

元高砂市消防団

分団長

叙勲の栄に浴された方々は、消防職員として国民の命、身体及び財産を火災等の災害から防御するため、永年にわたり著しく危険性の高い業務に精励するとともに消防力の強化、充実に尽力され、消防の発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与されました。

今回の叙勲の伝達式は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止となりました。

なお、全国の消防関係受章者数、勲章別内訳及び本県の受章者は次のとおりです。

（敬称略）

（全国消防関係受章者数）

（敬称略）

（敬称略）

（敬称略）

（敬称略）

（敬称略）

（敬称略）

（敬称略）

（敬称略）

（敬称略）

（敬称略）

（敬称略）

（敬称略）

（敬称略）

（敬称略）

（敬称略）

（敬称略）

（敬称略）

（敬称略）

（敬称略）

（敬称略）

（敬称略）

（敬称略）

（敬称略）

（敬称略）

（敬称略）

（敬称略）

（敬称略）

（敬称略）

（敬称略）

第三九回危険業務従事者叙勲が令和四年三月三日に発令

二二名の兵庫県下元消防職員の皆様が消防功労関係で受章

（全国消防関係受章者数）

瑞宝双光章	二九七名
瑞宝単光章	三二九名
計	六二六名

兵庫県下受章者（消防功労）

◎瑞宝双光章

元淡路広域消防事務組合

消防監

元篠山市消防本部

消防司令長

元高砂市消防本部

消防司令長

元川西市消防本部

消防司令長

元明石市消防局

消防司令長

元明石市消防局

消防司令長

元明石市消防局

消防司令長

元明石市消防局

消防司令長

元明石市消防局

消防司令長

元明石市消防局

消防司令長

元明石市消防局

消防司令長

元明石市消防局

消防司令長

元明石市消防局

消防司令長

元明石市消防局

消防司令長

元明石市消防局

消防司令長

元明石市消防局

消防司令長

元明石市消防局

消防司令長

元明石市消防局

元姫路市消防局

消防監

元神戸市消防局

消防監

元神戸市消防局

消防監

元神戸市消防局

消防監

元神戸市消防局

消防監

元神戸市消防局

消防監

元神戸市消防局

消防監

元神戸市消防局

消防監

元神戸市消防局

消防監

元神戸市消防局

消防監

元神戸市消防局

消防監

元神戸市消防局

消防監

元神戸市消防局

消防監

元神戸市消防局

消防監

元神戸市消防局

消防監

元神戸市消防局

消防監

元神戸市消防局

消防監

元神戸市消防局

消防監

元神戸市消防局

消防監

元神戸市消防局

消防監

元神戸市消防局

消防監

元神戸市消防局

消防監

元北はりま消防組合

消防司令長

元芦屋市消防本部

消防司令

元南但広域行政事務組合

消防司令

元宝塚市消防本部

消防司令補

元尼崎市消防局

消防司令

元加古川市消防本部

消防司令

元西宮市消防局

消防司令

元西宮市消防局

消防司令

元姫路市消防局

消防司令

元神戸市消防局

消防司令

元神戸市消防局

消防司令

元神戸市消防局

消防司令

元神戸市消防局

消防司令

元神戸市消防局

消防司令

元神戸市消防局

消防司令

元神戸市消防局

消防司令

元神戸市消防局

消防司令

元神戸市消防局

消防司令

元神戸市消防局

消防司令

元神戸市消防局

消防司令

元神戸市消防局

消防司令

元神戸市消防局

消防司令



開会式 日本消防協会秋本会長挨拶

第二七回全国女性消防団員活性化徳島大会開催

兵庫県消防協会事務局

第二七回全国女性消防団員活性化徳島大会が、令和四年一月二二日（火）にアステイ徳島（徳島県徳島市）において開催されました。

新型コロナウイルス感染症の影響で延期が続く、三年ぶりの開催となりました。

参加団体は次のとおりです。

神戸市東灘消防団、神戸市

長田消防団、神戸市

戸市垂水消防団、

尼崎市消防団、

明石市消防団、

洲本市消防団、

芦屋市消防団、

丹波篠山市消防

団、丹波市消防

団、（公財）兵

庫県消防協会

次回開催地は

石川県です。令

和五年十一月一

六日（木）、い

さいました。



アトラクション 阿波踊り



閉会式 大会旗を次回開催地石川県へ



尼崎市消防団展示



『阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター』

へ行こう！

兵庫県消防協会事務局



阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター西館

まずは西館から！

四階から見学開始！

四階は、震災追体験フロア
となっています。

一・一七シアターにおいて、音と映像と光で阪神・淡路大震災を起こした地震の凄まじさを体感した後、街のジオラマで震災当時の壊れた街並みを再現された中を歩きます。その先にある大震災ホールにて『このまちと生きる』という約一五分間の映像を観ます。

その後三階へ移動！

三階は、震災の記憶フロア
となっています。

記憶の壁には、震災関係の資料が提供者の体験談とともに展示されています。各種言語にも対応しており、皆さんが手持ちのスマートフォンやタブレットで展示資料やメッセージを検索、閲覧することもできますよ。また、震災学習テーブルや語り部コーナー

この度『兵庫消防』取材班は、突撃取材を敢行し、『人と防災未来センター』の魅力を読者の皆様へお届けします！

『人と防災未来センター』は、西館と東館のそれぞれ七階建ての二つの建物で構成されています。それではまず、各展示フロアのご説明からスタート！



スマホで展示資料やメッセージを検索できます



西館：記憶の壁 膨大な資料が展示されています



西館：ワークショップのコーナー



西館：語り部コーナー



西館：復興への道

などがあり、震災の体験、そしてその後の復興への道のりを詳細に知ることができます。

二階は楽しく学べる

防災・減災体験フロア！

災害情報ステーションとい

そして東館へ！

東館は令和3年にリニューアルオープンしました。まずは三階から見学開始！

うブースでは、

今世界で起こっている自然災害を学習することができます。

防災・減災

ワークショップのコーナーでは、ボランティアの方々が、免震・耐震や液化化などについて実験を交えながら楽しく解説してくださいます。

実験やゲームを通して防災・減災に関する実践的な知識を学習することができます。

一階にはガイダンスルーム！

団体で訪れた際に語り部さんのお話を聞いたり、防災セミナーを受講することができます（要予約）。



東館のご案内

三階は

BOSAサイエンスフィールド

地球上で発生する自然現象のメカニズム、それによる自然災害の発生などを学ぶことができるゾーンです。楽しく防災知識を習得し、自然災害に遭遇した時、自ら考え行動し、自分の命、大切な人たちの命を守る行動を学ぶことができます。

二階は阪神・淡路大震災の教訓についてのパネル展示がされ、一階ではこころのシアターにて自然災害に遭遇した時、自らの命を守るためにどうするべきかを問いかける、約一五分間の映像をご覧いただけます。令和四年四月からは下野紘氏の語りで、『にげよう 大切な命を守るために』が上映されています。

以上、各フロアのご説明でした。いかがですか？とても充実した内容ですよ。

『人と防災未来センター』は、見どころがたくさんあります！

私は二時間の見学時間を予定していましたが、全く足りませんでした。訪れた方々それぞれに、感じ方が違うと思います。被災経験のある方々には当時の記憶が蘇り、辛い気持ちになるかもしれませんが、私も阪神・淡路大震災の被災者です。一・一七シアターで音と映像を体感し、心臓がどきどきして、涙が滲んできました。当時のことを思い出すと、言いようのない不安と恐怖が蘇り、逃げ出したい気持ちになりました。しかしその後の大震災ホールで観た震災から復興までの道のりと新たな課題、街の変化を見て、自分もたくさんの方々に支えられ、助け合いながら今があることを再認識しました。

西館は、当時の記憶を忘れないことの大切さ、今後起こりうる自然災害に備えることの大切さ、人と人との繋がりの大切さを再認識し、自助・共助の重要性を理解することのできる施設となっています。

東館は、大人も子供達も楽しく体験しながら学ぶことができる施設です。自ら考え、体験しながら自然災害の仕組みを学び、『その時』どう行動するべきかを学ぶことができます。

人と防災未来センターは、来館して得たものを共有しながら家族と共に今後起こりうる災害についての備えを考える。また、仲間と共に災害に対する考えを共有し今後の訓練や活動に活かすことができる施設です。一日かけてじっくり体験、体感していただきたい施設です。お昼は暖かい季節になれば、南側に隣接するなぎさ公園でピクニックをしても良さそうです。併設のショップでは防災グッズも購入できますよ。

家族とも、仲間とも、充実した時間を過ごすことができます。施設！

この記事を読まれたら、ぜひ見学の計画を立ててください。土日は比較的空いており、修学旅行や遠足のシーズンを外せば、ゆつくりと見学していただけるそうです。

新年度の皆さんの視察や家族のお出かけは、『人と防災未来センター』に決まりです。

最後になりましたが、お忙しい中温かく迎えてくださった取材にご協力してくださった『人と防災未来センター』の皆様、ありがとうございました！





『歴史ある高砂を守る消防団を目指して』

高砂市消防団

高砂市は、兵庫県南部播磨平野の東部に位置し、人口約九万人、面積が三四・三八平方キロメートルの比較的小さな市です。

当市の特徴は、南に瀬戸内播磨灘、北西には播磨富士と呼ばれる高御位山、東には一級河川の加古川があり、海・山・川と自然豊かな一面もあります。また、結婚式やめでたいときに謡われる謡曲「高砂」と平和と長寿の象徴である「尉と姥」のいわれの発祥の地でもあり、歴史的な文化も混在しています。

近年は、高砂町が「兵庫県の歴史的景観形成地区」に指定されたのをきっかけに始まった「たかさご万灯祭」や、高砂市の活性化を目的として音楽に合わせて色とりどりのレーザー光線と花火が夜空を飾る、「ナイトファンタジーイリュージョン」も人気を博しています。

高砂市消防団は、一団本部及び七分団、定数六七五名で構成され、消防ポンプ自動車七台、団本部に資機材搭載型



若手団員訓練



水防訓練



出初式

車両一台、防災活動車一台及び小型動力ポンプ三一台で活動しています。

郷土愛護の精神に基づき、日々訓練を重ねることに、消防力の強化に努め、歴史ある高砂の街を守り、地域住民から信頼される消防団を目指していきます。

高砂市消防団の主な活動

【若手団員訓練】

入団三年以内の若手団員を対象とし、訓練礼式・可搬式ポンプ取扱い及びホース延長訓練・ポンプ車取扱い及び放水訓練を行います。消防職員とベテラン団員の指導のもと、現場活動に必要な知識や技術の習得を目的とし、訓練をしています。

【水防訓練】

消防団活動は火災のみならず、台風、集中豪雨など活動場面が増加しています。近年、全国各地において台風やゲリラ豪雨などの風水害が増加していることから、本市においても対応力の向上と士気の向上を図るために風水害時の訓

練も実施しています。

【高砂市総合防災訓練】

高砂市内各所での同時多発的な災害発生を想定し、住民の避難誘導、倒壊家屋瓦礫除去、初期消火、一斉放水を行います。

【年末警戒】

年末の繁忙期に、消防団員が一致協力して、分団管轄区域を巡回して広報等を行うことにより、火災の未然防止と早期発見に努め、火災による被害の軽減などを通じ、市民生活の安定をはかり、消防本来の目的達成のために年末夜警を実施しました。

【消防出初式】

消防団の士気の高揚と、地域住民への消防理解及び防火意識の向上を図ることを目的として消防出初式を挙行しています。消防職・団員及び自衛消防隊員等関係機関約八〇〇名が参加し、部隊観閲、式典及び訓練等を実施しています。

【林野火災】

春季火災予防運動行事の一つとして、消防職・団員及び関係機関との合同による林野火災防ぎ訓練を実施することにより、防ぎよ技術の練磨及び関係機関相互の協力体制を確立し、大規模林野火災防ぎよ活動の円滑化を図るとともに、市民が林野火災に対する火災予防意識の高揚を図ることを目的に実施しています。

【女性消防団員】

令和三年四月に高砂市初の女性消防団員が入団しました。応急手当普及員資格を取得し、消防団員への救急講習を実施するなど日々活動しています。今後、女性ならではの視点を活かして防火広報等活躍の場を広げていきます。

『日本のへそ西脇市は自らで守る』

西脇市消防団

西脇市は、兵庫県のほぼ中央部、東経一三五度と北緯三五度が交差する「日本列島の中心・日本のへそ」に位置し、中国山地の東南端が播磨平野に接する地点にあり、西光寺山（標高七二一・九メートル）を最高峰に標高二〇〇〇、六〇〇メートルの山地や丘陵に囲まれています。また、中央部を県下最長の加古川が流れ、市域南部で杉原川、野間川と合流しており、これらの河川沿いに開けた平野部に集落や農地が形成されています。

西脇市消防団の歴史は古く、明治二八年四月に多可郡消防組（多可郡津万村・同重春村・同日野村・同比延庄村）が発足、大正六年津万村が町制施行し、西脇町に改称。昭和二七年四月に一町三村が西脇市施行に伴い合併し、西脇市連合消防団及び四地区消防団として改編、昭和二九年三月に加西郡芳田村が西脇市に編入し、市内五地区で消防団活動が実施されました。

昭和三八年四月に西脇市連合消防団及び地区消防団を廃止し、西脇市消防団に再編、昭和四一年四月に六分団四三部の体制として再々編されました。

平成一七年一〇月、黒田庄町との合併により、九分団五八部体制となり、平成二七年四月一日分団の統合等が行われ、現在の七分団五五部体制となっています。

令和四年四月現在、七分団八六六名、ポンプ車一七台、小型ポンプ積載車三八台で活動しています。

西脇市消防団は、消防人としての自覚と士気高揚を図るため毎年四月に消防大会を開催しています。部隊行進や消防団員の表彰、新入団員の辞令交付・宣誓等を行います。

また、火災や水害などの災害発生に備え、日頃から訓練を行っています。災害に関する活動以外では、地域で行う防災訓練や火災予防に関



消防大会



防火パレード



合同訓練

する啓発活動として春季・秋季火災予防運動期間に合同訓練・防火パレードを実施しています。さらに、地域の祭りや花火大会等では警備や交通整理を行うなど地域に密着した活動を行うとともに、年末には市内にお住まいの方々が

安心して新しい年を迎えることができるよう年末警戒を実施しています。

「自らの地域は自らで守る」といった郷土愛護の精神のもと、団員一丸となって、西脇市の安心・安全のため活動しています。

われら若手消防団員

～消防訓練の大切さ～



豊岡市日高消防団 成田 誠

私は平成二〇年に豊岡市日高消防団に入団しました。幼い頃から消防団員として活動をしている父の姿をみていたことで消防団を身近に感じていたこともあり、入団を決めました。

入団後、何も分からないままに操法大会に出場する事になりました。大会に向けての訓練は夏の暑い時期で想像以上に厳しく、大変でした。先輩の指導の下で訓練に取り組み、大会終了後にはやり切った達成感と充実感が持ちがいったいになりました。一緒に操法訓練に取り組んだ団員との絆も深まり、チームプレイの大切さと素晴らしいことを学びました。

操法大会出場から数年後、私の近所で真夜中に火災が発生しました。「パンパン」という音で目を

覚まし、窓を開けると目の前は炎で真っ赤な状況で、すぐに消火活動にあたりました。活動中、近所の方の「消防、早う、早う！うちの家に水かけて」という叫び声が聞こえるなど、現場は緊迫した状況でした。しかし、操法訓練で鍛え上げた心技体が自然と体を動かし、火災に怯むことなく毅然と立ち向かい消火活動にあたりました。日頃から諸先輩方より聞いていた「消防力は人材力」という言葉を実感した経験となりました。消火活動後、近所の方々から「ありがとう！お疲れさん！」との言葉をもらい、消防団員として更に頑張ろうと強く思いました。

最近では新型コロナウイルスの影響で操法大会をはじめとした日頃の消防活動も例年通りにいかず、団員同士のコミュニケーション不足が心配です。今の状況下の中で自分たちができることをみつけ、自分たちの地域を自分たちで守っていけるようにこれまでご指導していただいたことを活かしながら、後輩団員の見本となるべく率先垂範で消防活動に取り組んでいきます。

わが町の団長さん

「キラリと光る 消防団」

神河町消防団

笹倉 武志



高原・名水・歴史にふれあうまち神河町は、兵庫県ほぼ中央に位置し、町域の約八割を山林が占めています。人口は一万八千人と兵庫県で一番少ないですが、町がハートの形をしており、「ハートがふれあう住民自治のまち」としてまちづくりを進めています。

特に観光面では、豊かな自然を生かした多数のレクリエーション施設を有しており、中でも峰山・砥峰高原は関西地方でも有数の高原地帯として知られ、秋の砥峰高原一面に銀色のススキの穂波が広がる光景は壮観です。また、この時期、スキー場「峰山高原リゾート」 ホワイトピーク」では、町内外からの来場客で賑わいを見せています。

現在、神河町消防団は、本部と七分団二七部、団員数五四五名で構成されています。

笹倉団長は、平成一六年四月一日に旧神崎町消防団に入団され、分団長、副団長を歴任後、令和四年四月一日に消防団長に就任されました。

柔らかな物腰と芯の強さを持つておられ、人一倍の責任感があり、若い団員のお手本

となるような姿勢で指揮を執られます。

団長は、日頃から「年齢や階級、現役やOBという枠にとらわれず、繋がりを大事にする消防団であってほしい。」とおっしゃっています。

また、消防団活動を通じて、たくさんの方々と出会うことも、団員にとって一生の財産となると考えておられます。

消防団の理念である『自分たちの町は自分で守る』を基として、地域の活動や行事に関わる『地域に根ざした消防団』を目指し、「兵庫のまんなかでキラリと光る消防団」になるように日々努力をされている団長です。

「市川を安心して暮らせる町に」

市川町消防団

羽岡 和浩



市川町は、兵庫県のほぼ中央に位置するハート型をしたまちです。町の中央部を清流市川がとうとうと流れ、その昔、船渡しに十石舟が往来した穏やかな川面に、田園と山並みが映ります。「羅生門」「七人の侍」など、日本映画の黄金期を築くとともに、世界的にも認められているシナリオライター的第一人者である橋本忍氏は、「自分の作品のすべては、子供のとき、郷

里・市川の川の流れを仰向きに泳いで流されながら、見上げた空の雲、その様々な雲の形の中にすべてがある。」と生まれ故郷・市川を偲まれています。

市川町消防団は地域とのコミュニケーションを意識して活動しており、火災・水害・地震等の災害対策にも地域の方々の情報を共有して迅速に対応出来る様、消防団と地域の合同訓練を重視しております。

これも市川町の町民や財産を守る為、いつ発生するか分からない災害でも素早く対応出来る様に意識しております。

現在はコロナ禍で活動内容も予定通りとはいきませんが、安心して暮らせる町づくりに市川町消防団も貢献出来る様、これからも積極的に活動していく所存でございます。

「ひとまちを守る 福咲きの消防団！を目標して」

福崎町消防団

浅井 信人



福崎町は、兵庫県の中播磨地域の中心に位置し、市川中流の両岸にひろがる豊かな自然と、日本民俗学を確立し歴史に名を残す柳田國男生誕の地で歴史と文化が漂う魅力あふれるまちです。最近では「遠野物語」に登場する妖怪から着想を得た、「妖怪のあふれる町」でもあります。

福崎町消防団は、浅井団長以下基本団員六〇〇名と機能別消防団員二五五名、一本部三支部三三分団から構成し、消防車四三台をもち、地域の安全・安心のため活動しています。基本団員の平均年齢は三三・二歳と比較的若く、子育て世代が主力となっております。

浅井団長は、平成一五年四

月に福崎町消防団に入団され、平成二七年に分団長となり、平成三〇年には本団幹部に抜擢されました。以後、副団長を歴任し、令和四年四月に団長に就任しました。浅井団長は伝統を大切にしながら新しい試みを絶やさない強いリーダータイプがあります。更に、コロナ禍により活動が停滞していた消防団活動を見直

し、再構築することで、より一層の活力を生み出しています。普段の浅井団長も小中高生三児の父であり、消防団活動を遂行しながらも、PTA会長や子ども会会長を歴任され、現在も小学生のクラブチームのマネージャーや部活動の保護者会役員など多岐にわたって活躍されています。

そんな人望の厚い浅井団長が就任されてからまもなく一年が経ちますが、これからも益々ご奮闘していただき、福崎町消防団を牽引し、「ひとまち 守る 福咲きの消防団！」をモットーに、災害から町民の生命・財産を守り、新しい時代への舵をとるリーダーとしての更なる活躍が期待されています。

『できることから少しずつ』

丹波篠山市消防団

女性班 団員 萩野 順子

丹波篠山市初の女性消防団員は平成三〇年四月に誕生しました。一〇人の女性団員は分団には属さず、主に啓発活動に携わります。

活動を始めて四年が経過しましたが、コロナによる自粛等が続き、団員全員で取り組める機会が少ないままの状況です。その中で、防火アナウンスをしながらの市内巡回、防災訓練への参加、高齢者宅の防火診断など、女性団員が担う活動が少しずつ定着してきました。

このように、できることから少しずつではありますが、日々の活動のひとつひとつを大切に頑張っているところです。「市民に頼られる身近な存在」として、使命を忘れず、仲間とともに着実な活動を続けていきたいと思っています。



女性消防団員任命式

女性消防団員が作成した啓発チラシ



編集後記

あけましておめでとうございます。

毎日寒い日が続いておりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルス感染症の感染状況は以前として落ち着きませんが、そのような中、消防団員の皆様は新年を迎えられ、決意も新たに消防団活動に向かい、邁進されておられることと存じます。

さて、今月号では、各団体の代表者の年頭のご挨拶を掲載しております。また、秋の叙勲等の記事も掲載しております。受章者の皆様、誠にめでとうございます。そしてさらに、年末に敢行した「人と防災未来センター」への突撃取材の記事も掲載しており、前号に続いて盛りだくさんの内容となっております。本年も引き続き、「兵庫消防」のご愛読をよろしく願います。